

## はじめに

本校は、「誰一人取り残さず、すべての子供達の可能性を引き出し、得意を伸ばす教育」と「自立と社会参加の実現」を目指していく。従って、私達学校スタッフは、鹿本学園としての揺るぎない伝統を継承しつつ新しい教育に向け、改革・改善を推進していく。そのため、「Change：変化への対応・踏襲にとられない柔軟性」「Challenge：創造性を豊かにした新しい挑戦」「Connect：地域等とつなぐ・つながる」をスローガンとして様々な教育活動にあたる。

また「子供達の学びを支える学校スタッフや学校の組織力」の充実のために、学校スタッフが使命をもち、前向きに校務にあたることができるよう「働き方改革」を推進し「ライフ・ワーク・バランス」の充実に努めていく。

また、令和12年度より次期学習指導要領は順次実施される。改訂する内容の理解を深めるとともに日々の教育に反映させていく。

## I 目指す学校

都民に信頼される教育活動を基盤として、個々の障害の状態等に応じた専門的な教育を行うことにより、生きる力を養い、分かる力を高め、地域社会の一員として主体的に社会参加・自立し、共生社会実現に向けて、生涯にわたり心豊かに生きていく人材を育成する学校

### 【校訓“向学虹輝”】

いくつもの色が連なって輝く虹となるように、児童・生徒一人一人がその個性を発揮し、輝かしい未来を掴む為に日々の学びと真剣に向き合う”その積み重ねを大切にする。

### 【教育目標】

児童・生徒一人一人の人権を尊重し、個々の障害の特性に応じた教育を推進するとともに、豊かな人間性や社会性をはぐくみ、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。

- (1) 基本的な生活習慣を養い、健康で豊かな心と身体をつくる。
- (2) 豊かな感性と、自分を表現する力を育てる。
- (3) 自ら考える力、学ぶ意欲を育てる。
- (4) 社会参加・自立に向けて生活する力を養い、働く意欲を育てる。
- (5) 仲間を思いやり、ともに活動する力を育てる。

## II 学校スタッフの行動指針 (学校スタッフ：教員、養護教諭、学校介護職員、学校看護師、企画室職員、栄養士等の総称)

目指す学校の実現のために私達は、児童生徒・保護者・地域・都民の信頼のもと

- 児童・生徒を第一とし、個々の人格と個性を尊重しながら、児童・生徒の自己決定や自立を支援します。
- 学校スタッフは、各々の専門職として常にキャリア及びスキルアップを図り、社会・教育・医療等の変化に柔軟に対応し、きめ細やかな教育を展開します。
- 児童・生徒や保護者のニーズを受け止め、社会や地域と連携を図りながら、切れ目のないトータルな生活を目指す教育・支援を充実させます。
- 学校スタッフが、風通しの良い、楽しく働ける環境づくりと働き方改革を推進します。
- 一人一人が教育公務員としての責任を自覚し、道徳や社会規範に基づき行動します。

## III 中期的目標と方策

### 1 児童・生徒一人一人の生活や可能性を拓げる多様な学びの充実

- (1) 「根拠・基本・安全」を踏まえた系統性のある行事活動の充実(校外学習・宿泊学習)
- (2) 豊かな心と健やかな体を育むための芸術・障害スポーツ教育の推進
- (3) 教育活動全般において実施する横断的な自立活動・言語活動の充実
- (4) 学びに向かう力・人間性の4つの要素を意識した授業計画への試行(年間指導計画・指導案)

### 2 デジタルとリアルの推進(学びの充実)

- (1) デジタルならではの学びと実体験や経験及び紙や教材等の学びのバランスを重視した教育活動(デジログ)の強化
- (2) 体験や芸術及び多様な職種と触れ合う教育活動の充実

### 3 自ら学び続ける学校スタッフの育成

- (1) 人権や人権擁護等の知識を深め、個々の児童・生徒の実態及び人権に配慮した教育の徹底
- (2) 外部専門員と連携し、教員自身が継続的に新しい知識や技能を学び続けていく校内研修システムの充実
- (3) 近隣の学校及び特別支援学校との学びあいによる継続的な授業改善
- (4) 組織的な人材育成や管理職候補者の発掘・育成の推進

### 4 切れ目のないトータルな支援体制の構築

- (1) 個々に応じた学びと自己の将来とのつながりを見通しながら、必要な力を育むキャリア教育の確立
- (2) 児童・生徒が利用する様々な事業所・関係機関との連携の充実
- (3) 生活全般への包括的なサポートやケア及び相談機能の充実と医療等(医療的ケア含む)の連携の強化

### 5 地域とつなぐ・つながる特別支援教育の推進

- (1) 地域・社会資源を生かした持続可能な教育活動の充実
- (2) センター機能の発揮及び江戸川区の特別支援学級及び通常級との連携の強化
- (3) 地域や多職種の方への特別支援教育の理解推進及び研修の充実
- (4) 特別支援学校で働く人材(教員・介護・看護師)の育成(介護体験生・大学・高校・専門学校)

### 6 安心・安全・健康を追求する組織体制・整備の確立

- (1) 地域と連携し、想定外の自然災害、首都直下地震等に確実に対応できる防災体制・整備の構築。
- (2) 学校スタッフの安全配慮義務及び危機管理への意識向上と学校危機管理体制の強化
- (3) 個々に応じた児童・生徒の心や身体の健康教育及び食育の推進
- (4) 産業医等と連携した学校スタッフの心身の健康管理の推進(助け合える学校づくり)

### 7 適正かつ効率的な学校経営及び働き方改革の推進

- (1) 教育公務員としての高いモラル意識と風通しの良い学校風土の醸成
- (2) デジタルを活用し業務の効率化・軽減を図り、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する
- (3) 経営企画室と学校スタッフの連携強化及び経営企画室の学校経営参画の推進

## IV 今年度の取組目標と方策 (S=肢体不自由教育部門、N=知的障害教育部門)

### 1 重点目標と方策

#### (1) デジタルとリアル(アナログ)の推進(学びの充実)

数値目標 「デジタル教材を活用した取組は行っていると感じますか」 $\geq 90\%$

- ・学習/タブレット端末・スイッチ・視線入力等の積極的な活用・実践例の発信・体験・経験を重視した学習、行事の充実(動物ふれあい・芸術鑑賞等)
- ・研修/デジタルサポーターと連携し知識・スキルの習得

#### (2) 切れ目のないトータルな支援体制の構築

数値目標 「卒業後を見据えたキャリア教育は行われている。進路の情報発信は適切である」 $\geq 90\%$

- ・進路/江戸川区・葛飾区との説明会の実施・高等部卒業を意識したキャリア教育の推進(N)
- ・将来像を見据えた計画的な一般就労及び福祉就労の充実(S)・進路情報の積極的な発信

#### (3) 地域とつなぐ・つながる特別支援教育の推進

数値目標 「地域との交流は充実している」 $\geq 95\%$

- ・特色化/併置型学園としての特色ある教育活動の充実・発信
- ・地域連携/地域共生社会への参画(広報活動、親和性を高める催し、地域支援による関係性強化)

#### (4) 安心・安全・健康を追求する組織体制・整備の確立

数値目標 「地域や学校の実態に応じた防災体制の向上」 $\geq 95\%$ パーセント

- ・想定外を想定内にするために危機管理・体制の確立・災害時の円滑かつ機能的な備蓄品の整備及び配備
- ・福祉避難所の設営・運営も含めた避難の在り方の再構築

#### (5) 適正かつ効率的な学校経営及び働き方改革の推進

数値目標 「勤務外在校時間45時間に向けた教員の意識変容」 $\geq 90\%$

- ・働き方改革/デジタル等を活用した業務改善の推進、ライフ・ワーク・バランスの意識向上
- ・業務改善/ICT機器、デジタル技術を積極的に活用した合理的・効率的な業務遂行
- ・週案を活用した、業務量の配置人数の適正を推進

#### (6) 緊急的増築棟建設における円滑かつ迅速な遂行

- ・安全かつ計画的な建設工事
- ・円滑な放課後等デイサービスの送迎
- ・学校内の物品等の整理

2 目標と方策 ★は全員必須記載 自己申告の内容は以下の目標・方策を意識し、職層や経験に応じて選択し記載する

<p><b>1 人権を尊重した教育の推進</b> (不適切な言動・学習内容及び体罰ゼロ)</p> <p>① 児童・生徒の生活年齢や実態に応じた学習内容や言葉がけ及び接し方の徹底★ (※児童・生徒の呼名は「さん」付けを意識する)</p> <p>② 人権教育の推進といじめの未然防止と体罰の禁止・根絶の徹底 (SOSの出し方教育) ★</p>
<p><b>2 学習指導</b> (教育課程の充実・授業力の向上)</p> <p>① 児童・生徒の実態に即した系統性のある指導計画の推進 (年間指導計画)</p> <p>② 三観点を取り入れた授業づくりの定着とともに学びに向かう力・人間性の4つの要素を意識した授業づくりの試行</p> <p>③ 児童・生徒がわかりやすい教室環境の整備及び動線の確立★</p> <p>④ 教育活動において教育活動でのICT (タブレット・パソコン・視線入力装置・スイッチ等) の利活用★ (ICT教材シートを活用した授業づくりの推進 一人一枚作成必須)</p> <p>⑤ デジタルとアナログのバランスを重視した学習の展開★</p> <p>⑥ 外部専門員や校内研修及び研究授業を活用した授業改善の充実</p> <p>⑦ 読書活動 (読み聞かせ、調べ学習) の推進・充実と図書館運営の改善・効率化と積極的な情報発信</p>
<p><b>3 進路指導</b> (卒業後を見据えたキャリア教育の充実)</p> <p>① 教職員のキャリア教育に関する意識醸成★</p> <p>② 卒業後の生活や社会参加に自ら選択ができるような様々な取組を展開 (現場実習・体験、施設等見学、情報発信)</p> <p>③ 各種検定試験や資格試験等への取り組みの積極的な推進</p>
<p><b>4 生活指導</b> (児童・生徒が安心できる生活指導体制及び様々な危機管理の確立)</p> <p>① 通学環境の整備 (校内乗降システム、放デイ送迎車両対応、一人通学への促進、通学路点検)</p> <p>② 関係諸機関・近隣住民と連携した実践的な訓練等の充実 (福祉避難所設営・運営含)</p> <p>③ ケースに応じた緊急対応訓練の実施 (発作・けが・アレルギー・遊出・迷子・不審者等) ★</p> <p>④ 日々の教室等の環境整備の徹底 ★</p>
<p><b>5 特別活動</b> (体験・経験・集団を重視した取組及び部活動の充実)</p> <p>① 全校行事や宿泊行事、校外学習の確立及び再検証</p> <p>② 適正な活動計画に基づく部活動の充実及び各種大会への参加の推進★</p> <p>③ 近隣の学校や関係機関等と連携した活動の推進 (交流学习、主権者教育 他)</p> <p>④ 副籍交流の円滑な推進 (一学期からの直接交流の推進) ★</p>
<p><b>6 健康・安全</b> (生活指導・学校運営の欄に記載)</p> <p>① 学校保健委員会及び学校医等を活用した健康づくりの推進</p> <p>② 栄養士・保健室と連携した食育の推進及び摂食に関する指導内容・指導技術の向上</p> <p>③ 健康管理や健康診断、カウンセリング等各種相談の適切な実施</p>
<p><b>7 特別支援教育の推進と喫緊の課題への対応(学校運営の欄に記入)</b></p> <p>① ホームページによる情報発信の強化</p> <p>② エリアネットワークの推進及び江戸川区特別支援学級や通常級との連携の充実</p> <p>③ 放課後デイ・訪問看護・移動支援・卒後の施設等とのネットワーク強化</p> <p>④ 円滑な医療的ケアの引継ぎのための定着支援の試行 (卒後の施設等) ★</p> <p>⑤ 学校介護職員を活用した医療的ケア体制の早期整備と医療的ケア専用バスの配備・体制の充実</p> <p>⑥ 他校種・多職種及び学生等への特別支援教育の理解啓発 (研修・講演・講話)</p>
<p><b>8 学校経営・組織体制(学校運営に記載 ※⑦は研修の欄でも可)</b></p> <p>① 個人情報書類等への施錠管理・迅速な手渡し・複数確認の徹底</p> <p>② サービスの厳正、様々なハラスメント、会計事故等に関する研修会の実施</p> <p>③ 産業医等との連携強化 (学校スタッフの身体面、精神面の健康保持)</p> <p>④ 鹿本13時間インターバルの確保 (19時完全退庁日の徹底：勤務外月在校時間45時間0へ) ★</p> <p>⑤ 適正な学校予算の執行</p> <p>⑥ 校外での研修会への参加・肢知相互授業参観・若手教員授業参観</p> <p>⑦ 夏季休業中によるテレワークの推進及び年休取得15日の励行</p> <p>⑧ 分掌・教科・学部等における教材等の整理・整頓★</p> <p>⑨ 分掌・教科・学部等における業務改善の推進★</p>